

第319回

日文研フォーラム

講師◎ハサンカマルハルブ エジプト国立カイロ大学文学部准教授／日文研外国人研究員

明治の人々を科学に導いた福澤諭吉の絵入り教科書
——『訓蒙窮理図解』をひもとく

コメンテーター◎瀧井一博 日文研教授

石上阿希 日文研特任助教

司会◎佐野真由子 日文研准教授

2018年3月13日(火) 十四時～十六時(開場十三時四十分頃)

ハートピア京都3階大会議室 入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十三時十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies
The 319th Nichibunken Forum

主催:大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研30周年
NICHIBUNKEN 30TH ANNIVERSARY

日文研フォーラム

明治の人々を科学に導いた
福澤諭吉の絵入り教科書

『訓蒙窮理図解』をひもとく

The Illustrated Textbook of Yūkiichi Fukuzawa,
the Man who Led the People of Meiji Japan to Science:
Unlocking Kimno Kyūri Zūka!

明治時代の思想家にとって緊急の課題の一つは、西洋の力の背景にある近代科学を、いかに受容し、これに対応するかでした。そうした中でも、明治元（一八六八）年に福澤諭吉が刊行した絵入り教科書『訓蒙窮理図解』は、一般民衆を対象に、科学の知識を原理から易しく伝えることを目的としていました。

本講演では、この書の特徴を明らかにするために、福澤が基にした西洋の科学書、また日本で同時代に出版された他の科学書と対比しながら紹介します。ここから、明治維新後の社会において、子供を含む一般の人々への科学主義の普及を重要視した、福澤の独自性や新規性を考えてみたいと思えます。

講師 **ハサン カマル ハルブ** エジプト国立カイロ大学文学部 准教授 / 日文研 外国人研究員



2002年エジプト国立カイロ大学文学部日本語日文学科卒業、2007年大阪大学大学院修士号取得、2010年同大学院にて博士号取得。2003年エジプト国立カイロ大学文学部助手、2012年専任講師を経て、2017年より同大准教授。2017年7月より、国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は、日本とエジプトの近代化（福澤諭吉や小幡徳次郎、井上円了、ムハンマド・アブドゥなど）。主要論文に「福澤諭吉とムハンマド・アブドゥの教育思想—政治と教育の分立論をめぐって—」（『日本語日本文化』2008）、「小幡篤次郎の啓蒙活動の礎に関する再評価—『天変地異』を中心に—」（『Historian』2013）、「井上円了の思想における仏教と外教の論争—日本の政教論を中心に—」（『Hermes』2017）などがある。

コメンテーター **瀧井 一博** 日文研 教授



京都大学法学部卒業、京都大学大学院法学研究科博士後期課程修了、京都大学博士（法学）取得。京都大学人文科学研究所助手、神戸商科大学助教授、日文研准教授等を経て、2013年より現職。専門分野は、国制史、比較法史。主要著作に、『渡邊洪基』（ミネルヴァ書房、2016）、『明治国家をつくった人びと』（講談社現代新書、2013）、『伊藤博文—知の政治家』（中公新書、2010）、『文明史のなかの明治憲法—この国のかたちと西洋体験』（講談社、2003）などがある。

コメンテーター **石上 阿希** 日文研 特任助教



2008年、立命館大学大学院文学研究科日文学専攻博士課程修了。博士（文学）取得。文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」（立命館大学）ポスドクトラルフェロー、大英博物館アジア部日本セクションプロジェクトキュレーター、立命館大学衣笠総合研究機構専門研究員を経て現職。専門分野は近世文化史、出版史。主要著作に『日本の春画・艶本研究』（平凡社、2015）、『へんてこな春画』（青幻舎、2016）、共著に『Shunga: sex and pleasure in Japanese art』（The British Museum press, 2013）など。2017年に「近世期絵入百科事典データベース（試作版）」（<http://dbserver.nichibun.ac.jp/EHJ/index.html>）を公開。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター（日文研）が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



日文研



京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都**

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口（地下鉄連絡通路にて直結）
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車

第320回 日文研フォーラム 2018年4月10日（火） 14:00~16:00

講師：蔡 敦達 上海杉達学院（中国）教授 / 日文研 外国人研究員 コメンテーター：井上 章一 日文研 教授